



「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の護岸工法設計流速 関係表について（通知）

技術基準の種類：設計・施工
通知日：平成11年12月13日

河 第 324 号
平成11年12月13日

各土木事務所長 様
各市町村長 様

（鳥取県）土木部長

「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の護岸工法設計流速
関係表について（通知）

このことについて、鳥取県版護岸工法設計流速関係表を別添のとおり定めまし
たので通知します。

護岸工法設計流速関係表（C表 - 1）
護岸の法勾配が1：1.0より急な場合に適用する工法例
（他工法等の施工実績を踏まえ、今後見直していくものとする。）

復旧工法例	設計流速（m/s）						適用条件等
	2	3	4	5	6	7	
丸太格子	適用	適用	適用	適用			・護岸の高さが5m以内に適用。 ・間伐材のある場合これを活用する。
杭 柵	適用	適用	適用	適用			・護岸の高さが5m以内に適用。 ・転石の少ない河川で採用する。 ・間伐材のある場合、これを活用する。
植生蛇籠	適用	適用	適用	適用			・護岸の高さが5m以内に適用。 ・めくれ対策を確実に行う。
かごマット（多段） かごわく（多段）	適用	適用	適用	適用	適用	適用	・護岸の高さが5m以内に適用。 ・強い酸性又は塩分濃度の高い場所、人頭大 の転石のある区間では適用しない。
連節ブロック+捨石 環境型連節ブロック+捨石	適用	適用	適用	適用			・護岸の高さが5m以内に適用。 ・法面方向の滑り止め措置を確実に行う。 ・めくれ対策（上下流端、堤脚部、天端部） を確実に行う。
補強土工法	適用	適用	適用	適用	適用		・護岸の高さが5m以内に適用。 ・平水以下で使用する場合は、吸出しに対す る対策が必要。
連結自然石（空積）	適用	適用	適用	適用	適用	適用	・護岸の高さが5m以内に適用。 ・控えを確保することや、めくれ対策を確保 にすることで、流速、土圧に対して安全性 を確保する。
植生コンクリート擁壁	適用	適用	適用	適用	適用	適用	・護岸の高さが5m以内に適用。 ・控長が十分確保できれば、流速は考慮せず に適用できる。
自 然 石（練積）	適用	適用	適用	適用	適用	適用	・護岸の高さが5m以内に適用。 ・当該河川に自然石がある場合はこれを活 用。 ・練積は深目地とするなど、多孔質な水際が 確保できるよう工夫する。
環境保全型ブロック	適用	適用	適用	適用	適用	適用	・護岸の高さが5m以内に適用。 ・工法開発途上であり、経済性の検討が必要 である。
コンクリートブロック積	適用	適用	適用	適用	適用	適用	・他の護岸工法が使用できない場合のみ、護 岸の高さ5m以内で適用。 ・水際部分に寄せ石等を併用する。

＊凡例 適用可能な範囲

基本的には使用しない（他の護岸工法で施工できない場合のみ使用）

＊注 ・上表の適用範囲は、施工実績等から求めた目安である。したがって、施設の被災状況等によ
ってはその被災原因の対策を講じることで、上表の範囲外でも既設工法が適用できる場
合がある。
・護岸高さ5mを超える場合は、別途安定計算により安全性を確認して用いること。

護岸工法設計流速関係表（C表 - 2）
護岸の勾配が1：1.0より急な場合に適用する工法

（本表は、鳥取県内のブロック工場で製造できる製品及び県内ブロック工場へ技術提携し県内製造できる県外メーカーの製品）

工法名	形式	規格	設計流速（m/ s）					施工直高		自然環境			河道状況			備考	
			2	3	4	5	6	7	輪荷重有	輪荷重無	植生	昆虫	魚類	河状床況	転石の衝撃等		感潮域
かごマット かごわく	コンクリート製 籠型多段積み	500×1000 × 2000						6.5	5.0m	5.0m	○	○	△	*1	×	○	
		500×1000 × 2000						6.5	4.0m	5.0m	○	○	△	*1	×	×	
環境保全型 ブロック	フレーム式 詰石タイプ	1000×615 × 2000						10.0	*3 3.8m	4.7m	○	○	○	*2	△	△	
	中空式 詰石タイプ	500×600 × 1000						8.0	3.5m	4.5m	○	○	△	*2	△	○	
		1000×500 × 1500						8.0	3.0m	5.0m	○	○	○	*2	△	△	工場制作 （石材込）
		500×500 × 998						8.0	5.0m	5.0m	○	○	×		○	○	
		500×750 × 1980						8.0	—	5.0m	○	○	○		○	○	
		500×700 × 1000						6.5	5.0m	6.0m	○	○	×	*2	△	○	
		500×500 × 2000						8.0	3.8m	4.7m	○	○	○		○	○	
		450×300 × 350						10.0	5.0m	5.0m	○	○	△	*2	△	○	
		450×300 × 350						8.0	5.0m	5.0m	○	○	△	*2	△	○	
		ボース式 ブロックタイプ	666×350～500 × 1500						8.0	7.0m	10m	○	○	×		○	○
	連結自然石 （空積）	（アンカー式）	420×280 × 350						7.0	5.0m	5.0m	○	○	△	*2	△	△

* 1：人頭大以上の転石がある区間では、採用しない。
* 2：人頭大以上の転石がある区間では、寄せ石等により水際部の保護をする。
* 3：メーカーの発表は、輪荷重有でも施工可能だが、極力輪荷重のかからない箇所に使用する。